# 全東京写真連盟

# 第31回 東京フォトサロン

# 入賞作品集

審査対象 第31回 東京フォトサロン

審査日時 2019年11月8日
審査員：HARUKI 先生

大賞グランプリ
「秋驟雨（あきしゅうう）」
小野怜恩 様

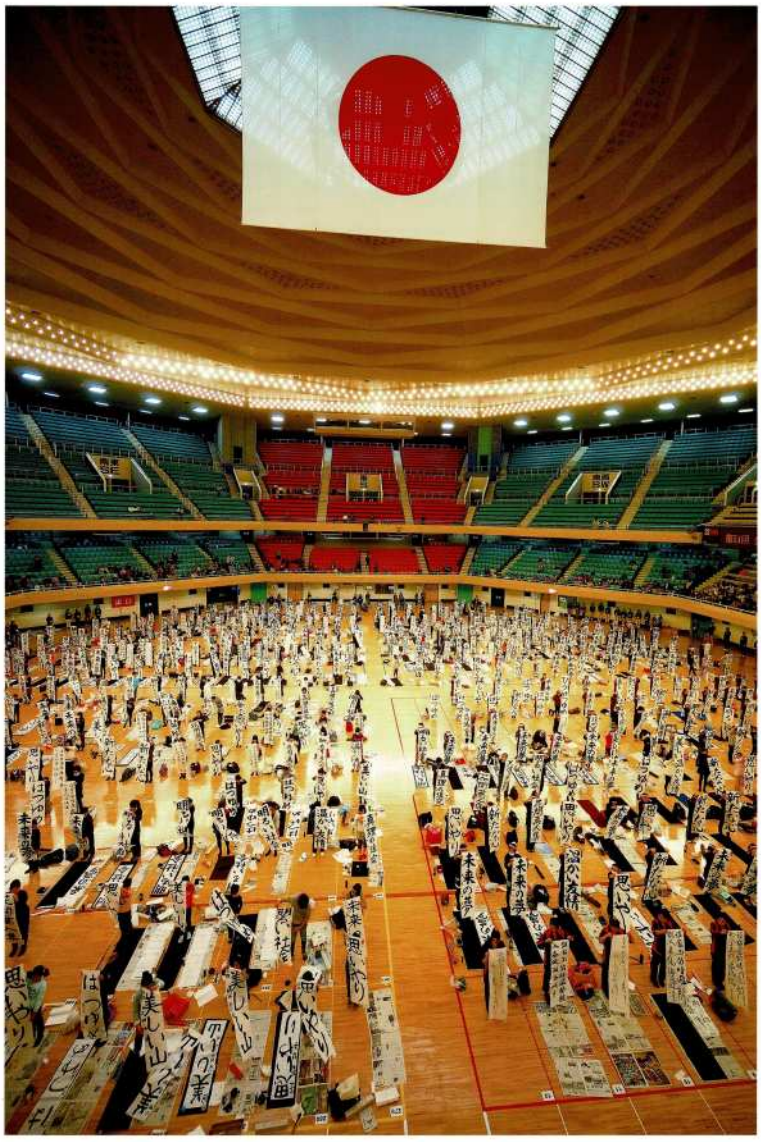
## 審査員：HARUKI 先生　講 評

雨上がりの急な坂道を横切る男のシルエット。望遠レンズの圧縮効果によって道の両脇に駐車中のクルマの連なりが背景の画面の引き締め役を成しています。雨に濡れた斜面の道路が逆光に照らされていることで単調なシルエットではなく、風景を構成している要素の持っている存在感を浮き立たせてくれました。
人物や風景からココは何処なんだろう？　この人はどんな人なんだろう？ ってついつい見る人にいろんな想像をかき立てる素晴らしい作品です☆

最優秀賞
「「眠れる刻」」
藤定早苗 様

## 審査員：HARUKI 先生　講 評

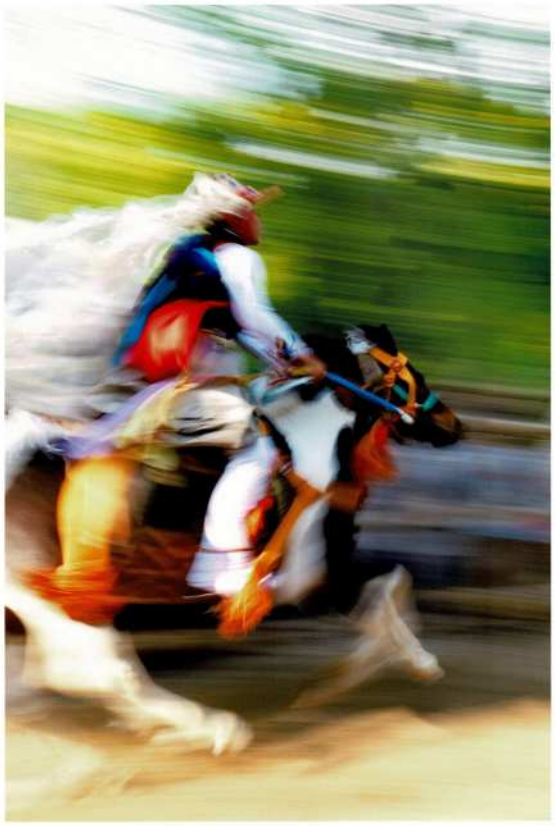
背景は海中のイソギンチャクのようにも見えるので水族館でしょうか。モデルの二人は姉妹？それとも、、、。　浅いフォーカスと強めのコントラストで捉えられた不思議なポートレート作品です。マニュアルでのホワイトバランスとのことですが、どのようなWBをチョイスされたのか白っぽく施されたメイクアップとも相まって不思議な色調に仕上がっています。作者の独特の世界観が押し出されたインパクトある写真となりました。



優　秀　賞
「新年の誓い」
髙橋壯太 様

## 審査員：HARUKI 先生　講 評

ダイナミックですね！超広角レンズの画角で捉えた構図も、日本武道館の広い会場いっぱいにズラリと並んだ書き初めの多さも。縦位置にしたことで日の丸国旗が入り１枚の写真の中に上、中、下と三つの世界が遠近感良く構成されています。多くの人が映っていたりたくさんの要素がギュッと凝縮されたこのようなタイプの写真をボクは「ライフな写真」と呼んでおりますが、まさに往年のグラフィック誌ライフの表紙を飾るようなとても迫力ある写真です。



奨　励　賞
「疾走」
平野美佐子 様

## 審査員：HARUKI 先生　講 評

流鏑馬の一場面ですがタイトルのとおり、人馬一体でまさに疾走するシーンを捉えられています。色の持っている美しさもありますしスローシャッターによる流し撮りなのですが被写体ごと一緒にブレているので一見失敗作（失礼・笑）かと思わせる背景の中に溶け込むような強いブレ効果、王道のスポーツシーンとは一味違った絵画における印象派のような表現方法で仕上がったこと力強くも美しい作品となりました。

特　選
「川面に映る小さな機関車」
小林俊明 様

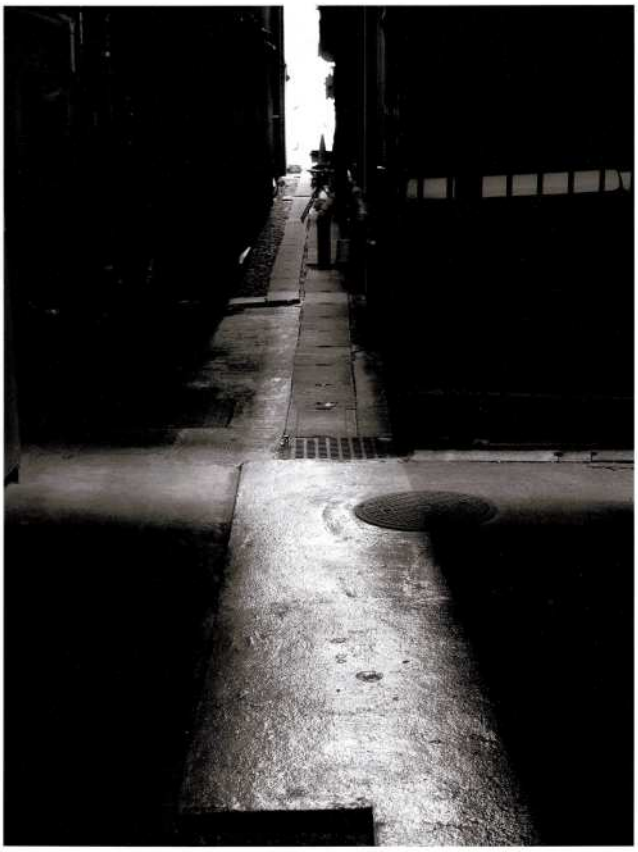
特　選
「初参加の紀元祭」
伊達兼敏 様

特　選
「サンシャワーに輝く雲海」
渡辺一夫 様

入　選
「気分上々」
佐藤正弘 様

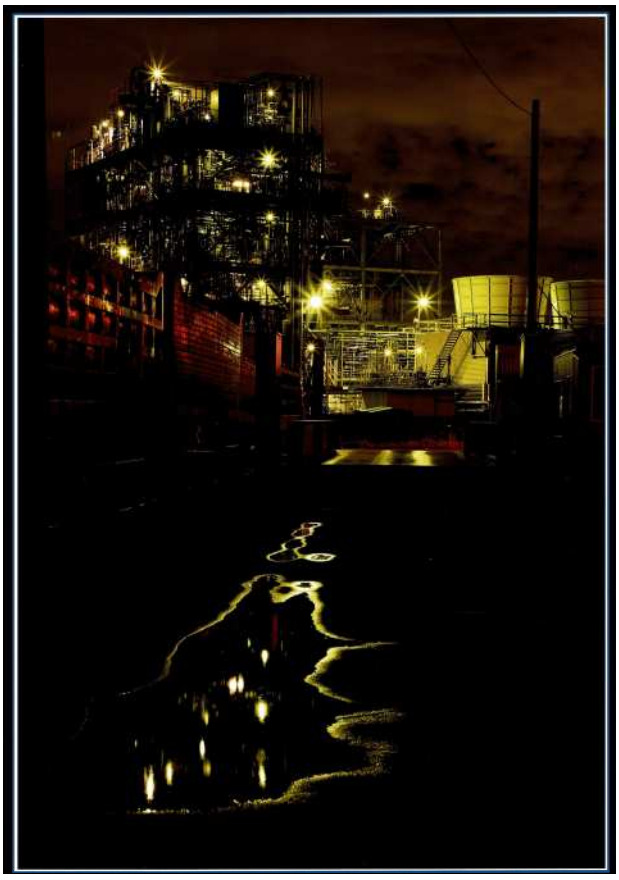
入　選
「裏通り」
佐土原光司 様

入　選
「（無題）」
竹谷智男 様



入　選
「顔のない十字架」
寺島弘行 様

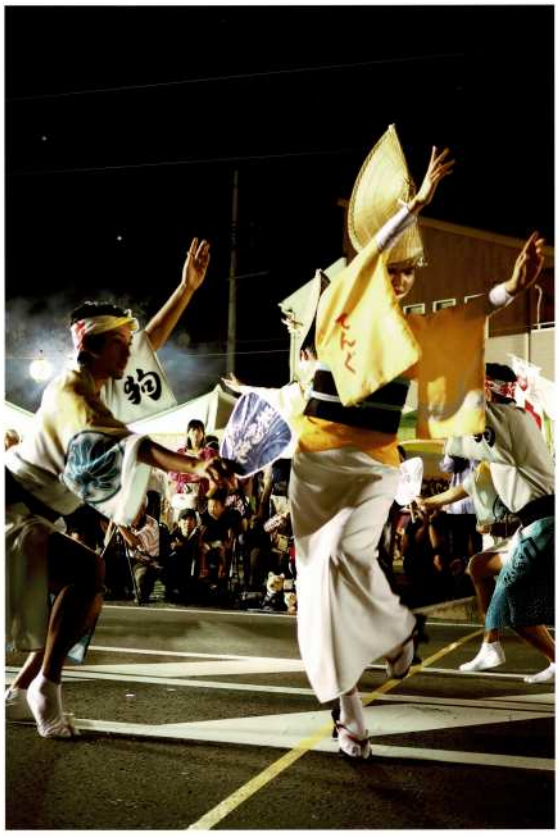
入　選
「駅顔」
湯原章綱 様



佳　作
「記憶に中の夜景」
青山真吾 様

佳　作
「山伏」
麻田周史 様

佳　作
「孤木」
荒井秀雄 様




佳　作
「開成町　一番熱い夜」
生田文夫 様

佳　作
「「水鏡」」
井上遼一 様

佳　作
「夕日」
岩永光太郎 様

佳　作
「夕暮れに想う」
臼杵辰朗 様

佳　作
「新緑夜話」
小倉良二 様

佳　作
「刻一刻」
小名木三枝 様

佳　作
「射る光」
齊藤隆広 様

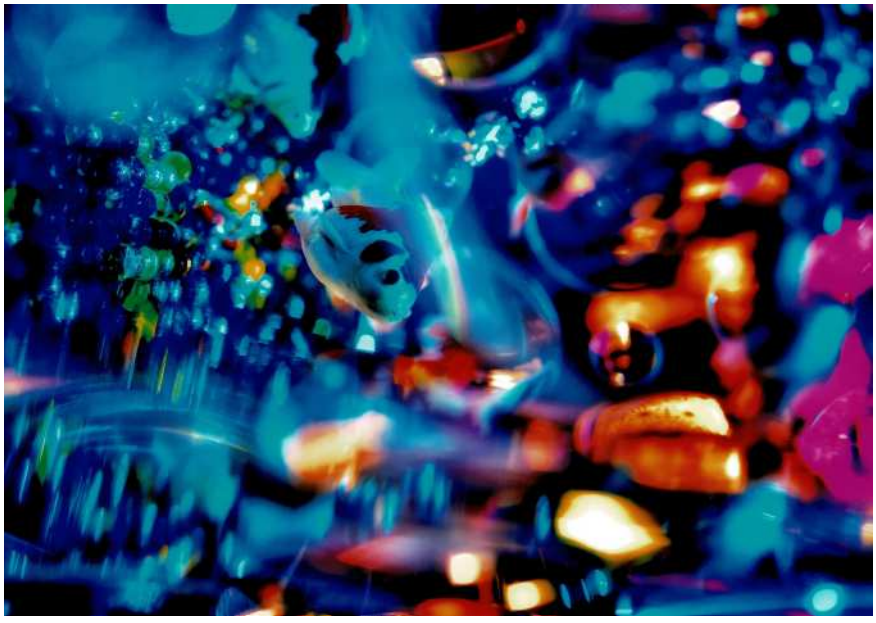
佳　作
「Take off」
末吉 穣 様

佳　作
「極楽温泉」
菅原道久 様

佳　作
「永遠の愛」
髙井善史 様

佳　作
「密談」
中西規雄 様

佳　作
「ファイナルラップ」
中牟田剛 様



佳　作
「きみの見る世界は何色に見える？」
西口由佳 様

佳　作
「期待の息子」
仁礼英銘 様

佳　作
「降下・降下・降下」
日向野遼平 様

佳　作
「夏の夜の祭と炎」
平沢考則 様

佳　作
「兵の行進」
深野武雄 様

佳　作
「夏の忘れもの」
星邨雪乃 様

佳　作
「瞳のクリプトグラフィー」
門間正之 様

佳　作
「ブリーチの迫力」
横塚英夫 様